

終活

元気な今だから考える

グラフでみる

「ひとり暮らしに関する意識調査」

— 自覚していますか？ 誰でもいつかは「ひとりになる」 —

さくら編集部では人生百年時代と言われる昨今、北九州市内に住む高齢者を対象に「ひとり暮らしに関する意識調査」を実施しました。今回は通院・介護などの看護状況や社会参加と電子機器利用状況についての集計結果を分析してみました。



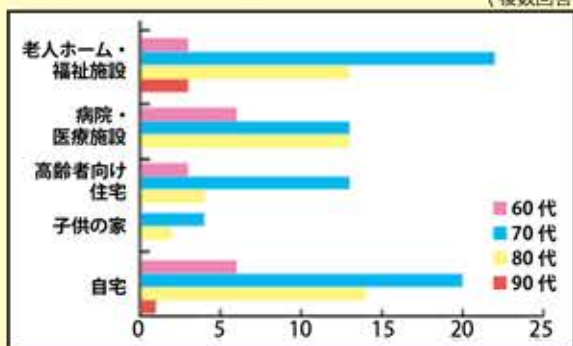
病院・診療所への通院回数

「病院や診療所（開業医）へどのくらい通っていますか？」と尋ねたところ、4割の人が月1回、2割弱の人が月2〜3回、月4回までを含めると3分の2の人が毎月病院通いをしていることが判明、日本人の病院好きと政令都市の中で二番目に医療費が高いことが裏付けられたようです。しかし、60〜80代の1割が通院していないことも分かりました。

あなたが介護を受けたい場所は？

7割の方が夫婦&家族同居世帯であることを念頭に、「独り身で介護が必要になった場合、あなたはどこで受けますか」と聞いたところ、左

【2】 独り身で介護が必要となった場合、どこで受けますか (複数回答)



【4】 現在、あなたが利用している電子機器は (複数回答)

項目	年代別	全体	60代	70代	80代	90代
1 携帯電話		95	9	48	37	1
2 パソコン		89	15	51	21	2
3 デジカメ		60	7	31	18	4
4 スマートホン		55	12	35	7	1
5 FAX		46	6	29	11	0
6 電子辞書		23	3	10	10	0
7 複合機		21	5	16	0	0
8 タブレット		18	2	11	5	0
9 ゲーム機		2	1	1	0	0
10 その他		1	0	0	1	0

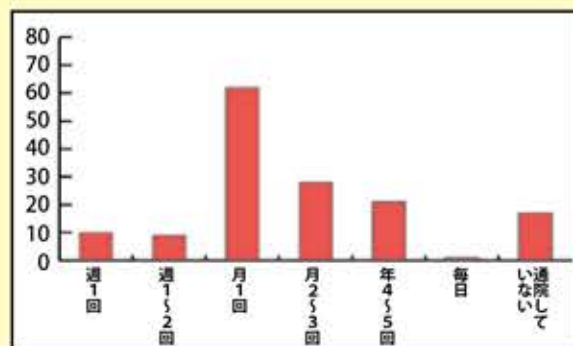
【訂正】

一人暮らしになったら、心配事や悩みを誰に相談するか

前号の「ひとり暮らしに関する意識調査」集計結果の図表中、表5の「一人暮らしになったら、心配事や悩みを誰に相談するか」の項目の中で、②兄弟・親族 ③介護関係者 ④友人・知人の順番になっていたのは間違いで、②友人・知人 ③兄弟・親族 ④介護関係者の順が正しいので訂正させていただきます。

「ひとり暮らしに関する意識調査」集計結果 (2019年5月4日)

【1】 病院や診療所へどのくらい通院していますか



【3】 あなたが参加しているグループ活動は (複数回答)

項目	年代別	全体	60代	70代	80代	90代
1 クラブ活動		89	10	47	30	2
2 ボランティア社会奉仕活動		70	8	42	20	0
3 自治会・町内会活動		57	6	34	16	1
4 まちづくり地域安全活動		23	0	18	9	1
5 同窓会		22	2	13	7	0
6 参加していない		8	1	5	1	1
7 その他		7	3	3	1	0
8 政治・宗教活動		2	0	0	2	0

【5】 一人暮らしになったら、心配事や悩みを誰に相談するか

項目	年代別	全体	60代	70代	80代	90代
1 子供		110	16	54	36	4
2 兄弟・親族		27	3	21	3	0
3 友人・知人		20	4	6	10	0
4 介護関係者		7	0	6	1	0
5 民生委員		6	1	5	0	0
6 行政関係者		6	2	4	0	0
7 いない		6	0	4	2	0
8 医師・看護師		4	0	3	1	0
9 近隣者		3	1	2	0	0
10 その他		1	0	1	0	0

図2の通りとなりました。過半数の人達が①自宅と②老人ホームなどの福祉施設を、2割の人が③病院などの医療施設を希望しましたが、6人に1人がどうすべきか④分からないと回答されました。これから増大し続ける被介護者予備軍と不足する介護士の2025年問題は着実に近づきつつあるようです。

あなたが参加しているグループ活動は？

団塊の世代に代表される70代の元気な回答者が多いこともあり、趣味やスポーツ・生涯学習等のクラブ活動に参加している人が6割、ボランティアなど社会奉仕活動に専念している人も5割近くいることが判明しました。また、町内会や地域安全活動の中

あなたが現在利用している電子機器は？

お年寄は電子機器に弱いというのは昔の話のようです。70〜80代を中心に携帯電話やパソコンを扱う人が過半数以上、またデジカメやスマホも4割近くの人達が利用していることが証明されました。電子決済が進化する中、高齢者も順応していかないと生き残れないのでしょうか？

シニアスタッフ 上田篤彦